

18歳までの子どもの医療費を無料にすることについての請願

令和5年12月1日

青森市議会議長 奈良岡 隆 様

青森市大字大野字若宮 165-19
新日本婦人の会青森支部
支部長 北田 文子

紹介議員 山田 千里

(請願の趣旨)

新日本婦人の会は、創立以来 61 年間、暮らしと平和、子どもの幸せ、女性の地位向上を目指し、草の根で運動を広げる国連NGOの女性団体である。

内閣官房が令和5年3月に公表した「こども・子育て政策の強化について（試案）～次元の異なる少子化対策の実現に向けて～」で、私たちが長年求めてきた子ども医療費助成制度に係る国民健康保険の減額調整措置の廃止が盛り込まれ、4月には厚労省も高校生までの減額調整を廃止する意向を示した。

新型コロナと物価高の影響で、ひとり親世帯をはじめ、多くの子育て世帯の生活困窮や、子どもの貧困の深刻化が懸念され、少子化にも拍車がかかっている。

これまで自治体の努力により、子どもの医療費への助成が進められてきた。青森市では所得制限がありながらも中学生までが医療費助成の対象になっているが、県下では既に40市町村中30自治体で18歳までの通院・入院とも無料になり、県内10市のうち実施していないのは青森市だけとなっている。

「どこに住んでいても子どもの命の大切さは同じ。子どもの医療費は18歳まで無料にしてほしい」という子育て世代の要求は切実である。全ての子どもに健やかな成長と、健康に暮らす権利を保障するために、医療費の心配をなくすことはますます重要となっている。

よって、下記事項について要望する。

(請願事項)

子どもの医療費を18歳まで無料にすること。